

第37回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1. 開催年月日 令和3年7月9日(金)
2. 時 間 午後4時00分～午後4時50分
3. 場 所 全員協議会室
4. 出席者 市長・副市長・教育長・企画部長・総務部長・市民生活部長・
環境経済部長・都市整備部長・福祉部長・こども支援部長・
健康推進部長・危機管理監・上下水道部長・議会事務局長・
教育部長・入間消防署長
5. 事務局 秘書課 田口参事兼課長
広報課 林田課長
人事課 荻野参事兼課長
危機管理課 藤田課長、根本主幹、川村主査
中村健康福祉センター所長
須田健康推進部副参事
地域保健課 吉川主幹
健康管理課 須田課長、吉田主幹

6. 議事概要

(1) 国内及び県内の発生状況について（資料1参照）

- ・6月17日現在の感染状況

国内 808,499人 県内 47,469人 市内 705人

(2) まん延防止等重点措置の延長に伴う市の対応について

- ・埼玉県のみん延防止等重点措置の期間が8月22日まで延長された。
- ・県内の措置区域はさいたま市及び川口市の2市に変更はない。
- ・措置区域と区域外における県の要請内容は、営業時間等の違い以外これまでと大きく異なるものはないが、今回の期間延長に伴い緊急事態措置区域（東京都、沖縄県）との往来を極力控えること、外出・移動の際は可能な限り感染防止対策を講じた上、目的場所以外に立ち寄ることなく直行・直帰を徹底することなどが、新たな要請事項として追加されている。
- ・本市の対応としては、原則、県の要請内容を受けた対応とし、現在の施設の利用は収容定員の50%、施設の夜間利用は午後9時まで等の対応を継続する。

(3) 緊急対策事業等の進捗報告について

- ・令和2年度補正予算第12号、令和3年度補正予算第2号、第3号の29事業について

て進捗状況が報告される。

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

① 優先接種対象者の接種券発送について

・7月5日に基礎疾患ある方、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方等 7,892 名に接種券を発送した。

② 今後の接種券発送予定

・7月13日（火） 16～64歳：約 74,500 通

・7月19日（月） 12～15歳：約 5,000 通

③ 予約者数・接種者数（7月8日現在）

・予約者数 40,368 人

・接種者数 1回目 27,746 人

2回目 19,008 人

④ 今後の集団接種について

・8月19日（木）～9月26日（日）分の集団接種会場について、7月5日に公式ホームページで公開した。また、広報いるま号外第16号でもお知らせする。

・10月以降の集団接種は現役世代が対象となること等を踏まえ、接種会場を公民館から他の場所への移動について検討する。

⑤ キャンセル等による余剰となったワクチンの対応について

・キャンセル枠については、保育士や教職員等の特定の職種を対象に対応してきたが、エッセンシャルワーカーに対する優先接種を実施することになったこと、また、予約枠が少ない状況も踏まえ、今後は市民に対するキャンセル枠の活用を行う。

(5) その他

※各部長からの報告等

・今年度の障害者スポーツ大会は、実行委員会において中止が決定した。

・子育て世帯生活支援特別給付金の支給状況について、児童扶養手当が支給されている1,040世帯には4月に支給済、公的年金等の給付により児童扶養手当が支給されていない世帯及び家計が急変し困窮している世帯の53世帯には7月15日に支給予定である。また、児童手当受給者及び特別児童扶養手当受給者で非課税世帯への支給については7月20日支給に向けて準備中である。

・県の「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店プラス」については、本日までに市内389店舗が認証を受けた。残りの申請店舗については、県職員と環境経済部職員で対応する。

- ・7月12日以降の小中学校における感染防止対策、夏休み期間中を含む家庭での感染防止対策や部活動の実施、さらには教職員の感染防止対策について、各学校長に通知した。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種担当の応援職員5名の派遣期間を、9月末までの延長について検討している。
- ・昨日時点での入間第一ホテルの宿泊療養者は35人、県内11の宿泊療養施設全体では376人となっている。6月中は200人台であったが、7月に入り300人を超えており増加傾向にある。
- ・現在の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の残額と、9月の交付額を合わせると約5,000万円になる。今後12月補正に向けて調整を図るので、新型コロナウイルス感染症対策やアフターコロナ対策について検討・計画をお願いします。

※その他

特になし